

令和2年度広島県立呉特別支援学校センターだより



カメラリア Camellia

第1号

令和2年4月17日発行

—カメラリアは、ツバキ科の植物の総称です。呉市民の花はつばきであり、本校校歌の歌詞にも含まれています。—

今年度、本校の専任教育相談主任（特別支援教育コーディネーター）になりました、平川真衣（ひらかわ まい）と申します。

障害の有無にかかわらず、子どもたちが自分の好きなことや得意なことに気づき、そのよさを日常生活の中で十分に発揮することができるよう、関係する方々を結び付け、一緒にサポートできるように努めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、新型コロナウイルス感染症による臨時休業を受け、子どもたちは慣れない環境の中、いろいろな思いで過ごしています。

一方で、先生方は僅かな時間での引継ぎを頼りに、子どもたちの実態を把握し、教室等の環境整備、必要な教材・教具の準備等、「何から手をつけたらよいか分からない。」「そこまでの余裕がない。」と、感じられる方もいらっしゃるかもしれません。

そんな皆様のお手伝いをさせていただきます。

是非、本校のセンター的機能を御活用ください。



センター的機能活用の例

昨年度、本校ではおよそ120件の相談や研修協力の依頼がありました。
お気軽にお問い合わせいただき、御相談ください。

① 小・中学校等の教員への支援機能



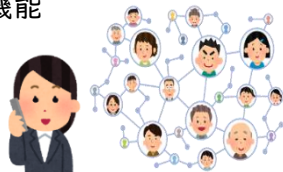
② 特別支援教育等に関する相談・情報提供機能



③ 障害のある幼児児童生徒への指導・支援機能



④ 福祉、医療、労働等の関係機関等との連絡・調整機能



⑤ 小・中学校等の教員に対する研修



⑥ 障害のある幼児児童生徒への施設設備等の提供機能



学校全体で取り組む環境整備

学校全体で環境の構造化, スジュールの構造化及び指導法の構造化を行ってみませんか。
学校全体で取り組むことで, 相手や場が異なる場面においても, 児童生徒が見通しをもって安心して行動するとともに, 自ら気づき, 考えて行動する姿を引き出すことを目指します。



環境の構造化



スケジュールの構造化



指導法の構造化

良好な人間関係を築くために ～他者視点に立って考える学習の機会を～



“場が読めない人” “人の気持ちを考えにくい人”

また, 従来のソーシャルスキルトレーニングでは, 学習したことを, 日常生活の対人場面で活用することが難しい児童生徒はいませんか?

ソーシャルシンキングは, その場の状況を読み取り, いつ, 誰と, どこにいるかに応じた適切なふるまいを自分で考え出す方略です。

早期段階から継続して取り組み, 児童生徒が, 自ら良好な人間関係を築くことができるよう, 指導の工夫を行っていくことが大切です。

本校では, ソーシャルシンキングを取り入れたプログラムや, 実際に使用する教材・教具等の貸し出しが可能です。

なお, ソーシャルシンキングを取り入れたプログラム等は, 広島県立教育センターホームページに掲載されています。御覧ください。

http://www.hiroshima-c.ed.jp/pdf/research/chouken/h30_kouki/kou19.pdf

http://www.hiroshima-c.ed.jp/pdf/research/chouken/h30_kouki/kou19_1.pdf



広島県立呉特別支援学校

担当者: 専任教育相談主任 (特別支援教育コーディネーター) 平川 真衣

住所: 呉市焼山北三丁目 22-1

TEL: (0823) 33-0300 FAX: (0823) 33-0308

